

臨時休業期間中の学習指導計画（5/12～5/24）

年次	2年次	授業科目名	現代文B		
期間中の学習目的					
古典に題材をとった「小説」の特徴を掴むことができる。					
期間中の到達目標					
①「小説」：『人虎伝』と『山月記』の違いを捉え、『山月記』の主題を把握することができる。					
学習の方法					
①「小説」：教科書とプリントの併用					
学習に必要な教材					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「現代文B」</li> <li>・「常用国語便覧」</li> <li>・国語辞典（『広辞苑』には文語の見出し語が多い。）</li> <li>・漢和辞典など</li> </ul>					
学習の計画					
回	テーマ	内容	課題	映像教材	
1	小説 (主題把握)	『人虎伝』の書き下し文を読み、大まかな内容を捉える。	比較プリントに、本文プリントのどこにその記述があるのかのヒントが記載されているので、それを手がかりに読んでみよう。	無	
2	小説 (主題把握)	中島敦が『人虎伝』の内容をあえて変えた部分から『山月記』の主題を考察する。	プリントに『人虎伝』との比較をまとめ、そこから主題を推察する。	無	
評価					
・授業開始後、プリントの完成度と「学習履歴表」で学習状況を評価する。					
メッセージ					
<p>一年次で学んだ『羅生門』は日本の古典『今昔物語集』に材をとった作品でした。『山月記』も中国の古典をヒントにして創作された作品です。小説家は古典をベースに自分の意図を重ねて新しい作品を創ります。『羅生門』は大正4年、『山月記』は昭和17年に発表されました。それぞれの時代背景も視野に入れながら主題に近づけたらと思います。『人虎伝』の書き下し文はプリントに示した三つの観点に気をつけながら、だいたいの意味が捉えられれば大丈夫です。</p>					